



# 大野ヶ原

平成28年12月

大規模校氏家中で、基本的な生活習慣・学習習慣の定着をめざして、今もっとも力を入れていることが「時を守り、場を清め、礼を正す」です。

○時を守り・・・遅刻しないで登校し、授業開始チャイムの前に着席しよう！

○場を清め・・・ゴミを散らかさない、ゴミがあったら拾おう！

○礼を正す・・・気持ちのよいあいさつをしよう！

## ♪も〜いくつ寝ると〜、お正月〜♪、もうすぐ冬休み、お正月！ しかし、その前に保護者の皆様へ、「氏中学学習指導部」からのお願いです

氏家中学校では、次のような学習指導を行っています。学習習慣の確立やさらなる学力向上のためにも、次の3点、ご家庭でのお声かけを是非お願いいたします。

### その1. 週1回、国語科・英語科の宿題の提出

国語科は漢字練習帳（またはプリント）、英語科は英語練習帳（B ノート）の提出

### その2. 問題集・ワークブックの提出

各教科で購入してある問題集、またはワークブックの提出

※2学年では学年の取り組みとして、「自主学习ノート」の提出を実施しています。

### その3. 読書の奨励

語彙力、使える言葉を増やすために、そして表現力を伸ばすために、毎朝「読書の時間」を設けています。幅広い分野から選書できるようご助言ください。

## 各種大会やコンクールを振り返って…秋以降の氏中生の活躍をレポート！

今月3日（土）、吹奏楽部は TBS こども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会（千葉県習志野文化ホール）で、昭和56年以来35年ぶりという「優秀賞」を受賞しました（県代表校14校中 第2位）。そして4日（日）、駅伝部は関東中学校駅伝競走大会（山梨県南アルプス市）に出場し、県代表校33校中 男子16位、女子24位と男女とも初出場ながら大健闘することができました。

吹奏楽部や駅伝部だけではありません。この秋以降の氏中生の活躍を、紙面の関係もあって県大会等に限られてしまいますが、ここで紹介させていただきます。

### <陸上競技部> 県新人陸上競技大会

1年男子 1500M 6位 伊藤 優(1-3) 1年女子 100mH 6位 瀬川琴音(1-2)・走高跳 6位 田崎香穂(1-7)

2年女子 100M 5位 西巻陽万葵(2-3)、200M 4位 西巻陽万葵(2-3)、800M 7位 野沢 悠(2-9)・

800M 8位 添田郁心(2-10)、1500M 5位 野沢 悠(2-9)、100mH 7位 関根泉琳(2-6)、

共通女子四種競技 3位 関根泉琳(2-6)、

共通4×100mR 4位 瀬川琴音(1-2)・西巻陽万葵(2-3)・関根泉琳(2-6)・大貫愛羅(2-4)

### <サッカー部> 県新人サッカー大会 3位

<体操部> 県新人体操競技大会 男子団体総合 3位・女子団体総合 4位

2年女子個人総合 5位 彌島千穂(2-4)

<柔道部> 県新人柔道大会 男子個人 3位 久木田 隼(2-1)

<駅伝競走部> 県駅伝大会 男子の部 4位・女子の部 3位 男子個人 第4区 区間賞 前田晃秀(3-7)

<吹奏楽部> 日本管楽合奏コンテスト予選審査会 優秀賞

<国語> 県青少年読書感想文コンクール 優良賞 大金 遥(3-9)

税についての作文 関東信越国税局長賞 鈴木日菜(2-9)

JA 書道コンクール JA 共済連栃木県本部賞 銀賞 条幅の部 大木駿汰(1-11)

// 佳作 条幅の部 大木悠希(3-2)

<英語> 県中学校英語スピーチコンテスト I部 2年生の部 優秀賞(2位) 井澤エミリー(2-9)

// II部 優良賞(3位) 阿賀愛紗(2-5)

<美術> 愛鳥週間ポスターコンクール(県) 入選 高瀬里菜(2-8)

河川愛護ポスターコンクール(県) 銀賞 齋藤 匠(3-7)

<技術 家庭> 技術家庭科生徒作品展(県) 優秀賞 中田彩稀(3-3)、

全国中学生創造ものづくり教育フェア栃木県大会 審査員特別賞(3位)

鈴木千愛美(1-4)・清水春奈(1-6)

## コーヒースレイク...

今回は、横町にお住まいの小学生の保護者からいただいた電話から・・・。「今朝、登校中に、小学生の子どもが中学生の自転車に引っかけられて転倒してしまいました。幸い大事には至りませんでしたが、小学生に対して『お前たちがよけて当然だ!』といったような横暴な態度を見てとても残念でした。自分たちだってかつては幼い小学生だったので、やさしい気持ちで譲り合って通れないものでしょうか」といった内容でした。一方で、道を譲ってもらったときに、会釈のできる生徒もいると聞いています。

以前、この「大野ヶ原」10月号のコーヒースレイクで、「小さな親切運動」について触れました。人と人とのコミュニケーションがとりづらい世の中であればあるほど、ちょっとした思いやりや親切が人と人との潤滑油になるはず。登下校時、氏中生から小学生やお年寄りへの「やさしい気持ちで譲り合い」を期待したいと思います。





